

町政懇談会の意見・質問

平成27年度10月中旬から下旬にかけて開催した町政懇談会は、51名の町民の方にお集まりいただきました。

まず、町から「地域おこし協力隊」「地方創生」「公共交通対策」などについて説明したあと、参加した皆さまと町政全般について懇談しました。

町民の皆さまからのご意見やご質問を抜粋してご紹介します。
※一部、その後の対応策を掲載

◆防災について

Q 防災ヘルメットは優先順位をつけて、毎年度計画的に配置するべきでは。

A 平成28年度以降、必要とする資機材の整備を進めます。

Q 爆弾低気圧による被害への助成措置は講じないのか。

A 倒木等の処理を実施しています。過去に助成措置を講じたことはありませんでした。

◆地域おこし協力隊について

Q 若いケシは観光資源として成長できるのか。

A 協力隊導入により宣伝面を工夫しPRしていきます。

◆地方創生について

《全般》

Q 立派な総合戦略ができつつも、町長と職員の間で実行力が必要。

A 重く受けとめます。今後も広くお声をいただき、人口減少対策に注力していきますので、町民の皆さま自らが一緒に努力していただきたい。

《移住定住促進》

Q 観光客は移住に興味があるのか。空き地・空き家情報を積極的に開示しては。

A 地方創生先行型事業で、空き地空き家を調査し、売買を促進させる仕組みを作っています。

Q 老朽家屋の修繕・解体費用の助成などを検討しては。

A 検討します。

Q デザイン性の高い住宅の新築・改修で移住を促進しては。

A 今後どのような仕組みが町に有用なのか、ニーズを把握して制度を検討します。

Q 農家敷地内に従業員用の住宅を新築した場合の助成は。

A 移住定住促進に繋がる取組なので検討したい。

《農業振興》

Q 法人化のイメージは。

A 個々の農家の集合体ではなく、役場や農協等が出資した法人のイメージで、そこで実習しながら新規就農する仕組みを構築したい。

Q 既存事業者への支援制度なども役場担当から説明するので、個人や地域の集まりに呼んでくださいますか。

《バイオマス》

Q 町の方向性は。

A 幌延地区はかん排施設を有効活用した安価な仕組みを、問寒別地区は集中型プラントが望ましいが、皆で認識を共有し、

輸送代などの経費負担の均一化等の合意形成を基本とし、積極的に進めたい。

Q 説明会や討論会などを開催してほしい。

A 直接実践している現場を視察してほしい。平成28年度でいろいろな機会を提供したい。

Q 個人にも助成するのか。

《雇用対策》

Q 新規雇用助成事業とは。

A 雇用増(新規)に助成するイメージで農家も対象と考えます。

Q 若い女性の確保が最優先課題であり、積極的に取組んでほしい。

A 宗谷全体で広く住民全般を対象に婚活を支援し効果があつたため、町内での取組も検討します。

◆公共交通について

Q スクールバスや患者輸送バスの利用方法の周知徹底を。

A 利用方法などについて、広報誌で周知します。

◆秘境駅について

Q 秘境駅の強調で、JRから廃止の対象にされるのでは。

A 秘境駅にスポットを当てて何とか利用客数を増やす取組で、JRと協力して盛り上げていきたい。

◆懇談全般

《道路等関係》

Q 町道の補修を要する箇所が多いため予算を増額してほしい。

A 通行・営農面への支障など優先順位をつけて修繕していきます。修繕を要する箇所があれば担当に連絡してください。

